

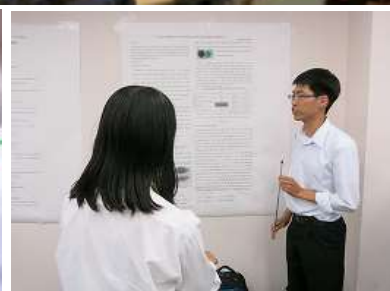
SSH 英語研究発表会

6月10日(土)東松山市立総合会館にて、SSH 英語研究発表会を開催しました。3年生にとってはSS 科学探究の授業で1年生の時から続けてきた研究の集大成を英語で発表する場です。松山高校から校内選考で選ばれた7報のプレゼンテーションと、さらに熊谷高校、熊谷西高校、大宮北高校から各1報ずつの計10報の発表がありました。

質疑応答では積極的に質問をする生徒が多くみられました。発表を聞きに来た留学生から英語で質問され、英語で答える場面もありました。

その後、20報の研究のポスター発表がありました。生徒は留学生に英語で説明したり、他校の生徒とも積極的にディスカッションしたりしていました。並行してSSH 運営指導委員会も開催しました。2期目を迎えた本校 SSH に対して運営指導委員及び JST(科学技術振興機構)の方々から事業計画書をもとに、助言指導をいただきました。

ポスター発表終了後、留学生や(株)ボッシュのインターンの方々との交流会が開かれました。生徒たちは英語で自己紹介し、研究の話だけでなくお互いの趣味の話など身近な話題で盛り上がりました。



SS 講義(化学)『日常生活と水環境』

6月28日(水)6限に化学実験室において、環境科学国際センター主任研究員の木持謙先生をお招きして、「日常生活と水環境いちのがわ～市野川の調査研究に向けて～」というタイトルで講義をしていただきました。人間の日常生活が、水環境や生態系に及ぼしている影響について解説していただき、その後パックテストを用いて市野川の水と校内のビオトープの水、雨水のCOD(化学的酸素要求量)と硝酸態窒素しょうきんたいちっそを検査し、水の汚れ具合を調べました。

生徒のアンケートから、水質調査という分野の深い話を聞くことで、多くの生徒が水環境に関心を持ち、水質汚染について考え、行動に移そうと考えるようになったことがうかがえました。

